



公益社団法人日本キャンプ協会  
NCAJ National Camping Association of Japan



# キャンプの再会から 質の高いキャンプの実践へ！ ～実践の成果と提案～ 首都圏の自然学校の視点から

NPO法人国際自然大学校(通称:NOTS) 本校マネージャー  
小澤 潤平

# 本日の目次

- 1、民間事業者のコロナ禍の現状をダイジェスト！
- 2、【対策と成果】キャンプのニューノーマル
- 3、【質の高いキャンプ】キャンプスタイルの変容
- 4、【問題提起】グラウンドデザインを考えよう

2020年4月23日

# 新型コロナウイルス感染拡大 に関する自然学校等への影響調査

## 調査レポート

被害総額は約18億円  
6割超の団体が法人の経営に影響  
多くの自然学校等が団体存続の危機に直面

自然学校の窮地  
↓  
体験の場がなくなる？

## 調査結果の要約

- 4月末までに100万円以上の被害が見込まれる団体は半数近くに上る  
(平均 約310万円/団体)
- 今後100万円以上の被害が見込まれる団体は6割超  
(平均 約627万円/団体)
- 6割超の団体が「法人経営に現在影響が出ている」と回答
- 6割の団体が持続化給付金や雇用調整助成金を申請/申請を検討していると回答
- 長期化することで被害はさらに拡大することが予想される
- 多くの自然学校等が団体存続の危機に直面している

- 活動自粛により、子どもたちが自然と触れ合う機会が減少
- 子どもたちの生きる力が失われることが懸念される

- 新型コロナウイルスの収束後も、三密を避けた自然体験プログラムを実施することが当分の間必要
- 感染症対策を盛り込んだ安全管理マニュアルの策定が望まれる

自然学校がなくなる  
↓  
体験の場がなくなる？

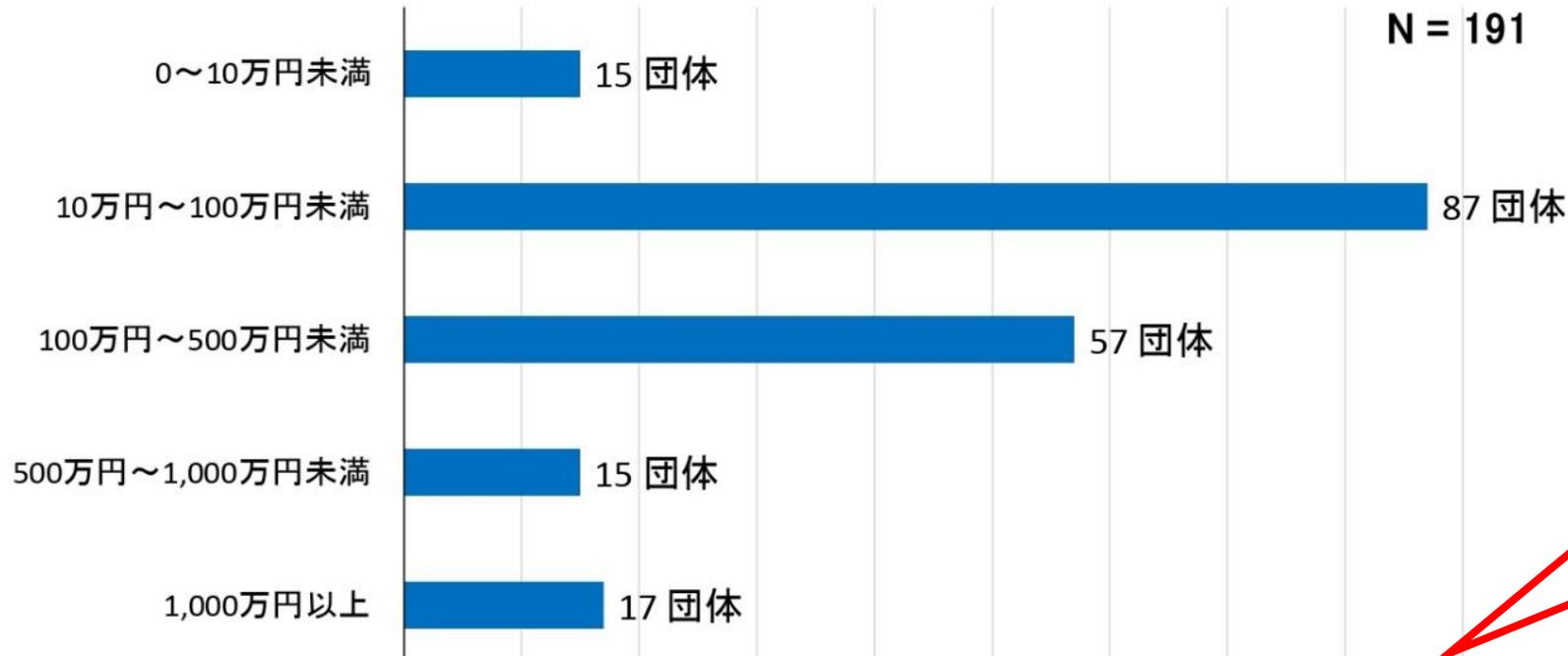
## 調査の目的及び概要

新型コロナウイルスの感染拡大により、全国の自然学校等の自然体験・環境教育・野外教育事業に影響が出ており、またその深刻性が日々増しています。そこで、自然体験・環境教育・野外教育のネットワーク団体では事業への影響や必要な支援についての共同緊急調査を実施しました。

- 送付数 : 1,474件 ※複数のネットワーク団体に所属する団体には重複して送付
- 回答数 : 236件
- 対象 : 日本全国の自然学校等
- 調査期間 : 2020年4月14日(火)～4月21日(火)
- 調査方法 : ウェブアンケートで実施  
各ネットワーク団体から会員等に対してアンケートフォームURLをメールで送付
- 実施団体 : NPO法人自然体験活動推進協議会 (送付数:236件)  
一般社団法人日本アウトドアネットワーク (送付数:143件)  
公益社団法人日本環境教育フォーラム(事務局) (送付数:492件)
- 協力団体 : NPO法人川に学ぶ体験活動協議会 (送付数:83件)  
NPO法人海に学ぶ体験活動協議会 (送付数:67件)  
NPO法人森のようちえん全国ネットワーク連盟 (送付数:293件)  
NPO法人日本エコツーリズムセンター (送付数:120件)  
ジャパンアウトドアリーダーズアワード (送付数:40件)

緊急事態宣言中の  
アンケート

## 結果① 4月末までに減少した売上見込額(全体)



NOTSでも  
主催・受託がゼロに。  
4月～5月

被害総額 **約5億9,200万円** 平均 **約310万円/団体**

4月末までに100万円以上の被害が見込まれる団体は**半数近く**に上る

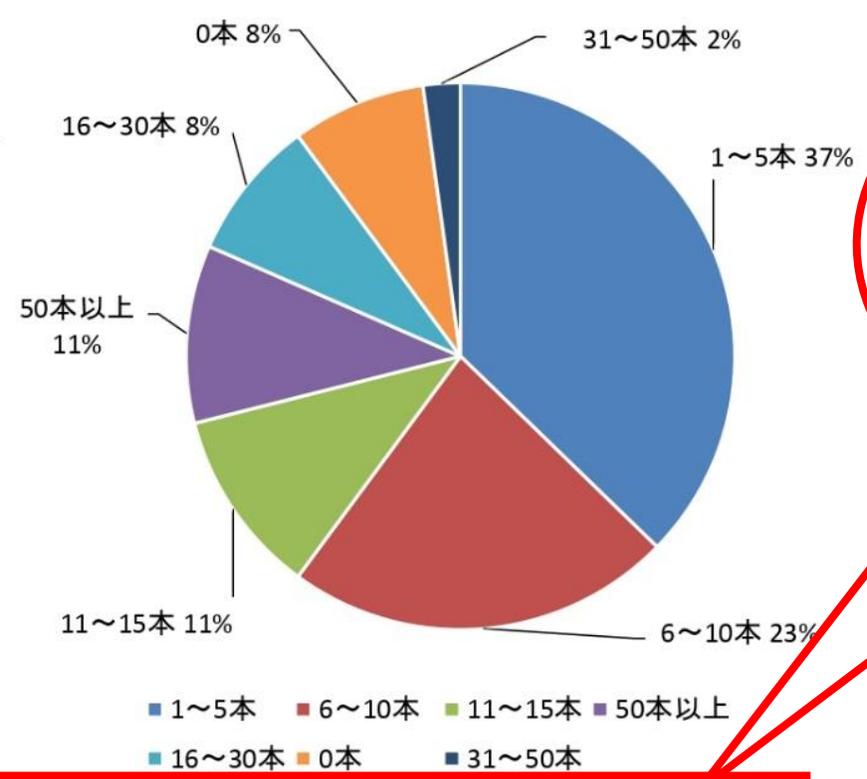
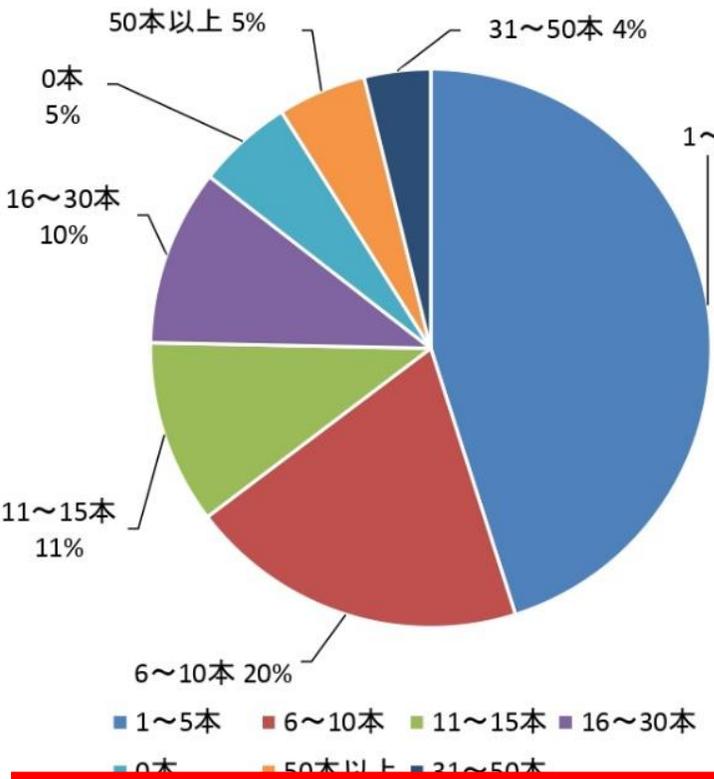
## 結果⑦ 中止・延期したプログラム数及び参加者数

**4月末まで**

N = 235

**5月以降**

N = 228



4月までで20万人  
 東京ドーム4つ分が満員  
 (1つで5.5万人)  
 5月以降で38万人見込  
 東京ドーム7つ分

<b>参加者数: 197,806人</b> 平均 約841人/団体	<b>参加者数: 382,926人</b> 平均 約1,679人/団体
--------------------------------------	--

2020年9月28日

# 新型コロナウイルス感染拡大 に関する自然学校等への影響調査 - 2020年9月版(第2弾) -

## 調査レポート

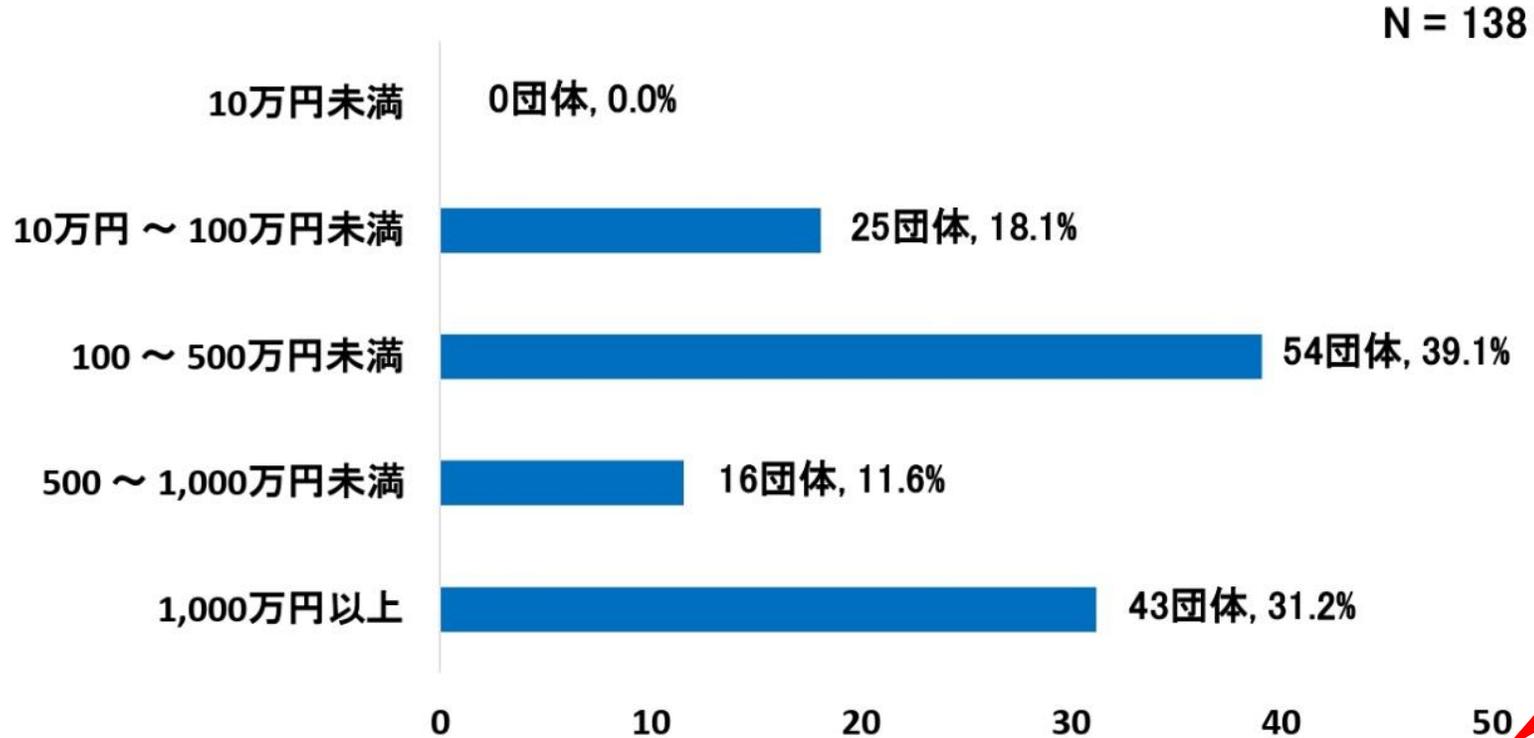
被害総額は約21億円  
昨年と比べて売上が半減以上した団体は7割弱  
夏休み期間の短縮や集団行動に対する忌避感等により  
自然学校等の経営危機がさらに深刻化

第2弾のレポート

やっぱり自然学校窮地

大きな団体ほど・・・

## 結果① 5月以降に減少した売上見込額(全体)



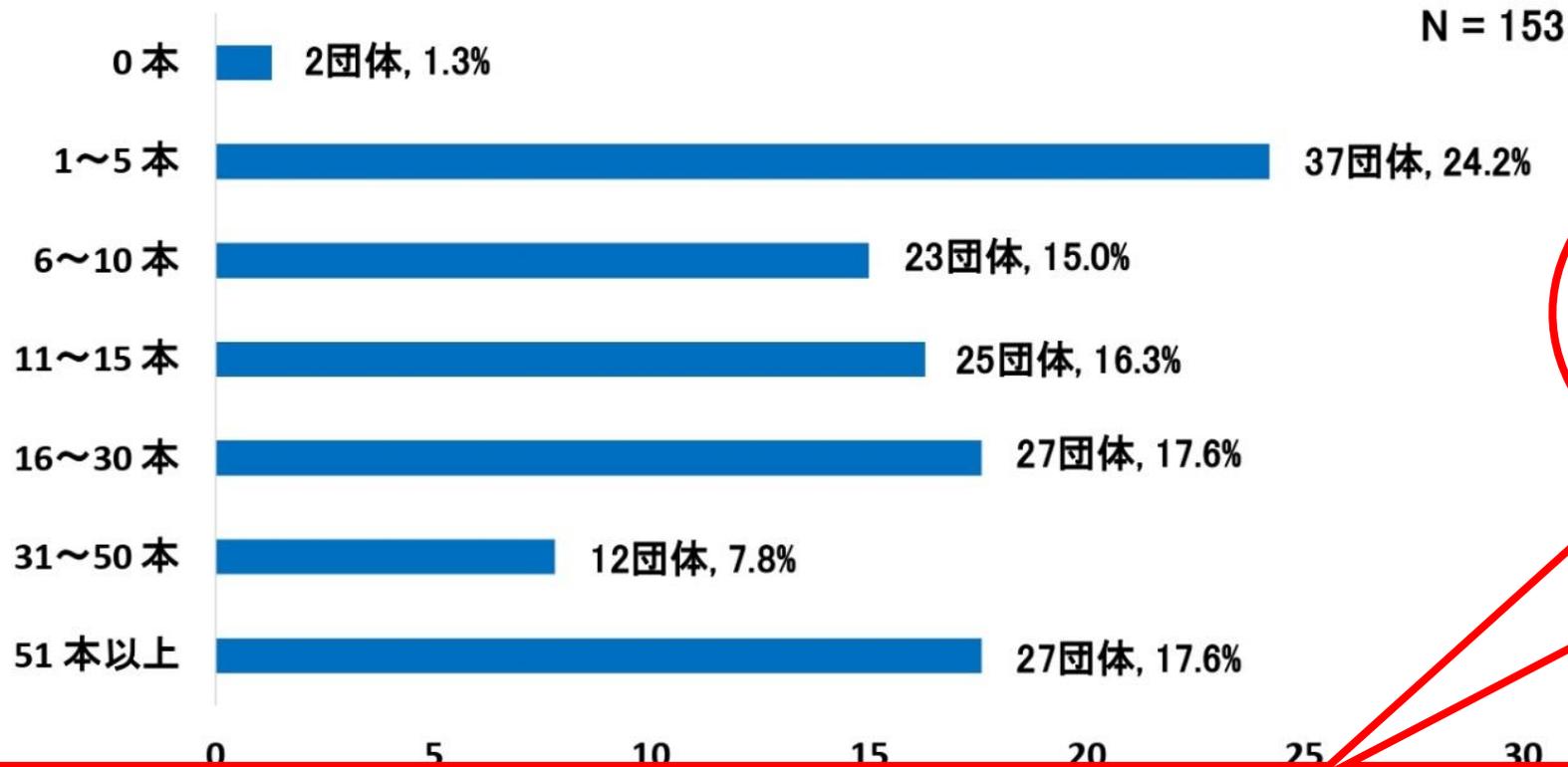
NOTSでも収益は  
例年の3割ほど。

被害総額 **約21億円** 平均 **約1,526万円/団体**

5月以降に100万円以上の被害が見込まれる団体は**8割超**に上る  
4月調査と比較して1団体あたりの平均被害額が**約2.4倍**に拡大

【参考】4月調査:平均約627万円/団体

## 結果⑥ 5月以降に中止・延期したプログラム数及び参加者数



39万人が参加できなかった。

東京ドーム7個が満員！  
(1つで5.5万人)

参加予定人数: **389,785人** 平均 約2,548/団体

【参考】4月調査: 平均 約1,679人/団体

4月調査と比較して中止・延期したプログラム数は増加傾向  
1団体あたりの中止・延期したプログラムへの参加予定人数は約**1.5倍**に拡大

# 本日の目次

- 1、民間事業者のコロナ禍の現状をダイジェスト！
- 2、【対策と成果】キャンプのニューノーマル
- 3、【質の高いキャンプ】キャンプスタイルの変容
- 4、【問題提起】グラウンドデザインを考えよう

# 【対策と成果】 キャンプのニューノーマル

## 1、コロナ禍における三種の神器

ガイドライン／マスク／消毒液

## 2、人数はどうする？

夏は例年の半数（20名定員）

冬は人数を見直し（30名定員）

## 3、場所はどうする？

キャンプ地へのインパクトは？医療体制の圧迫にならないか？



# 本日の目次

- 1、民間事業者のコロナ禍の現状をダイジェスト！
- 2、【対策と成果】キャンプのニューノーマル
- 3、【質の高いキャンプ】キャンプスタイルの変容
- 4、【問題提起】グラウンドデザインを考えよう



# 子どもの外遊びに関するアンケート集計結果 速報

2020年6月5日から7月15日まで実施した子どもの外遊びに関するアンケートでは、たくさんの方にご協力いただきありがとうございました。  
結果の速報を紹介します。(有効回答数：954件)

## の現状

### 1. 回答者の情報

#### ・居住地と年齢

板橋区、練馬区共に回答者の4割以上が「30代女性」だった。回答者は女性の方が圧倒的に多かった。



図1 回答者の居住地と年齢

板橋区・練馬区の児童の保護者へのアンケート

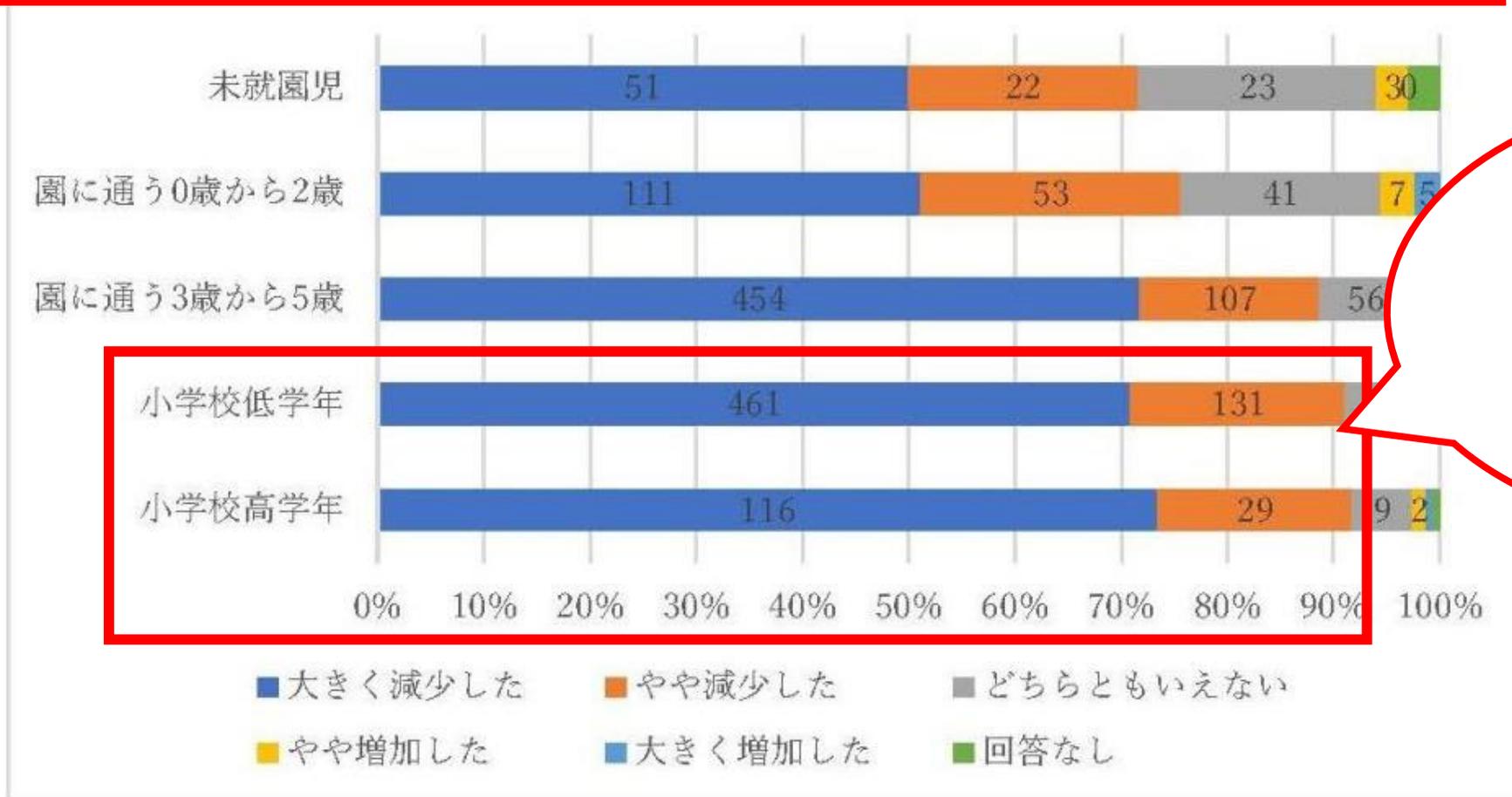
日本大学工学部建築学科  
井本研究室 出典



・外遊び時間の変化(n=1760)

どの年代の子どもの70%以上が減少したと回答した。特に小学生に関しては、約90%が減少したと回答した。

犬



外で遊ぶ時間が減った？  
おそらく家にいる時間が  
増えた??

図 16 子どもの年齢と外遊びの時間の変化



### 7. 外遊びの際の工夫（自由記述）（n=319）

「外遊びにあたって工夫されたことなどがあれば教えてください」という質問への自由回答では、自宅内やバルコニーなど、これまでとは異なる遊び場の環境を設けている様子が分かった。

全体としては、「専有的に使える屋外空間（庭除く）」を工夫して活用したという事例が最も多かった。

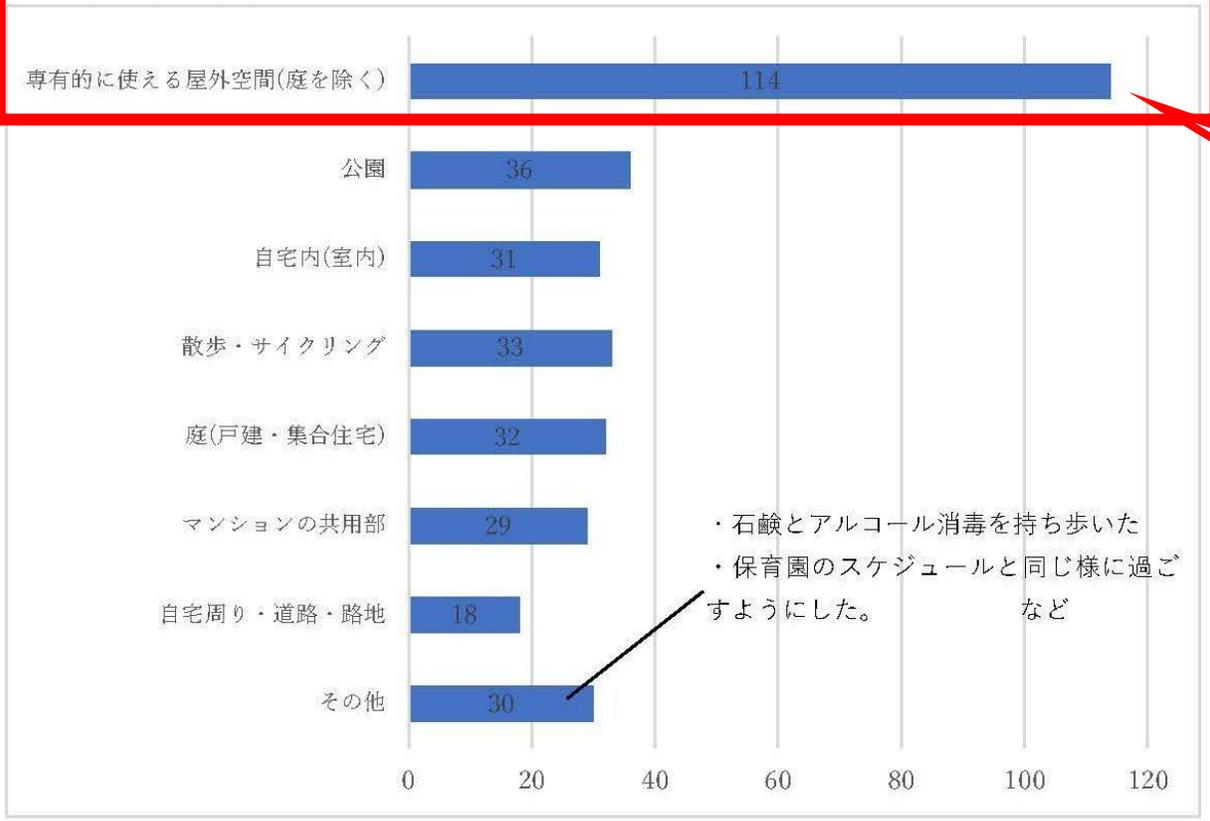


図 18 外遊びの際に工夫したこと（自由記述）

※「専有的に使える屋外空間（庭除く）」：戸建住宅の場合は、バルコニー（ベランダ）、屋上、駐車場を指し、集合住宅の場合はバルコニー（ベランダ）を指す。

※「集合住宅の共用部」：集合住宅の屋上、駐車場、エントランスなどの共用部分を指す。

# （の実際）の現状

場所を共有しない屋外  
を選択



① 「専有的に使える屋外空間（庭除く）」での遊び方で工夫し  
(n=114)

「専有的に使える屋外空間（庭除く）」を遊び場としたという回答では、バルコニーや屋上でお昼寝、食事というように「生活の一部を室外ですること」によって外の空気に触れようとする方が多く、23件あった。

# の現状

ベランダを選択  
ベランピングetc.  
おうちキャンプ

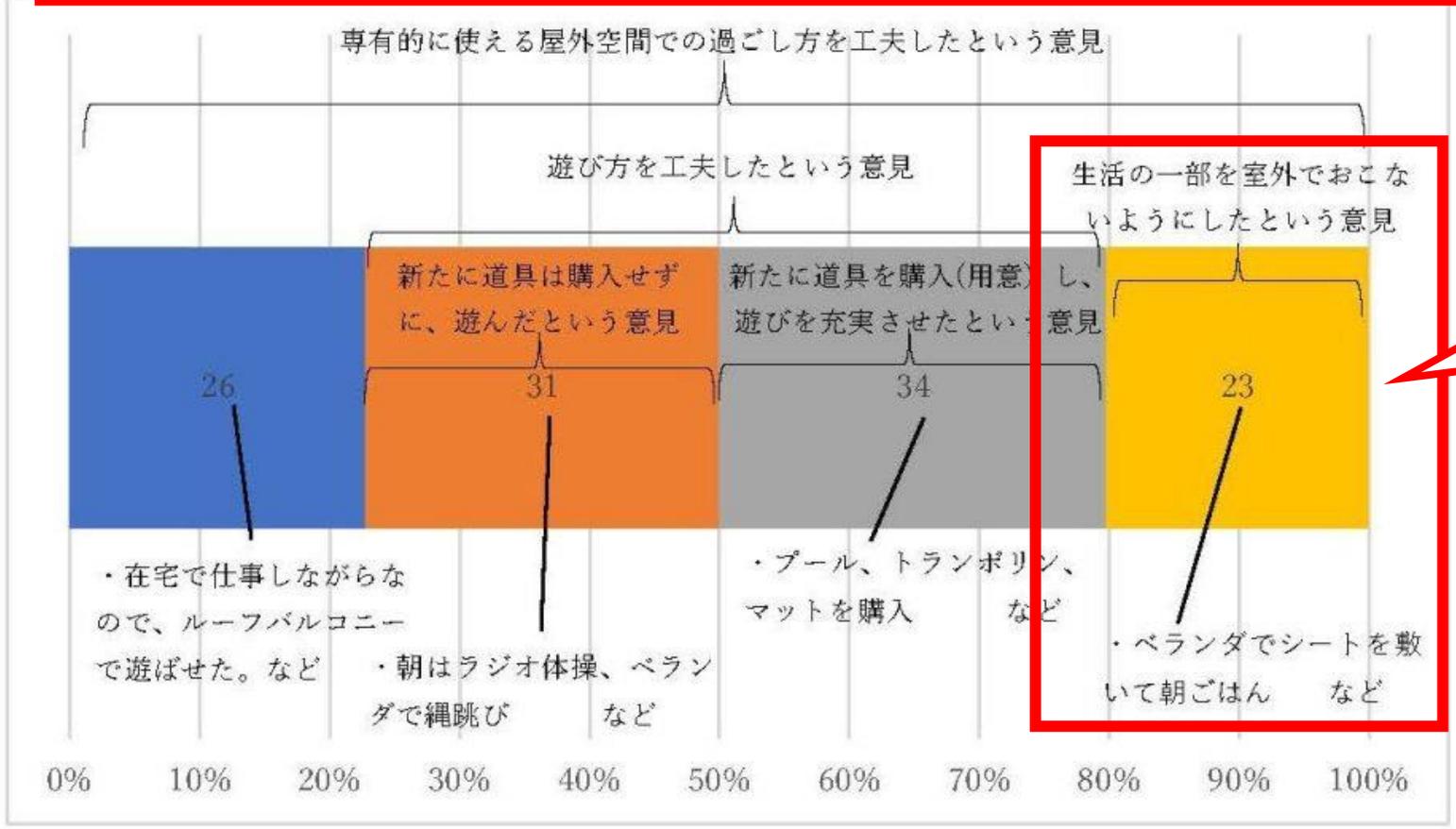


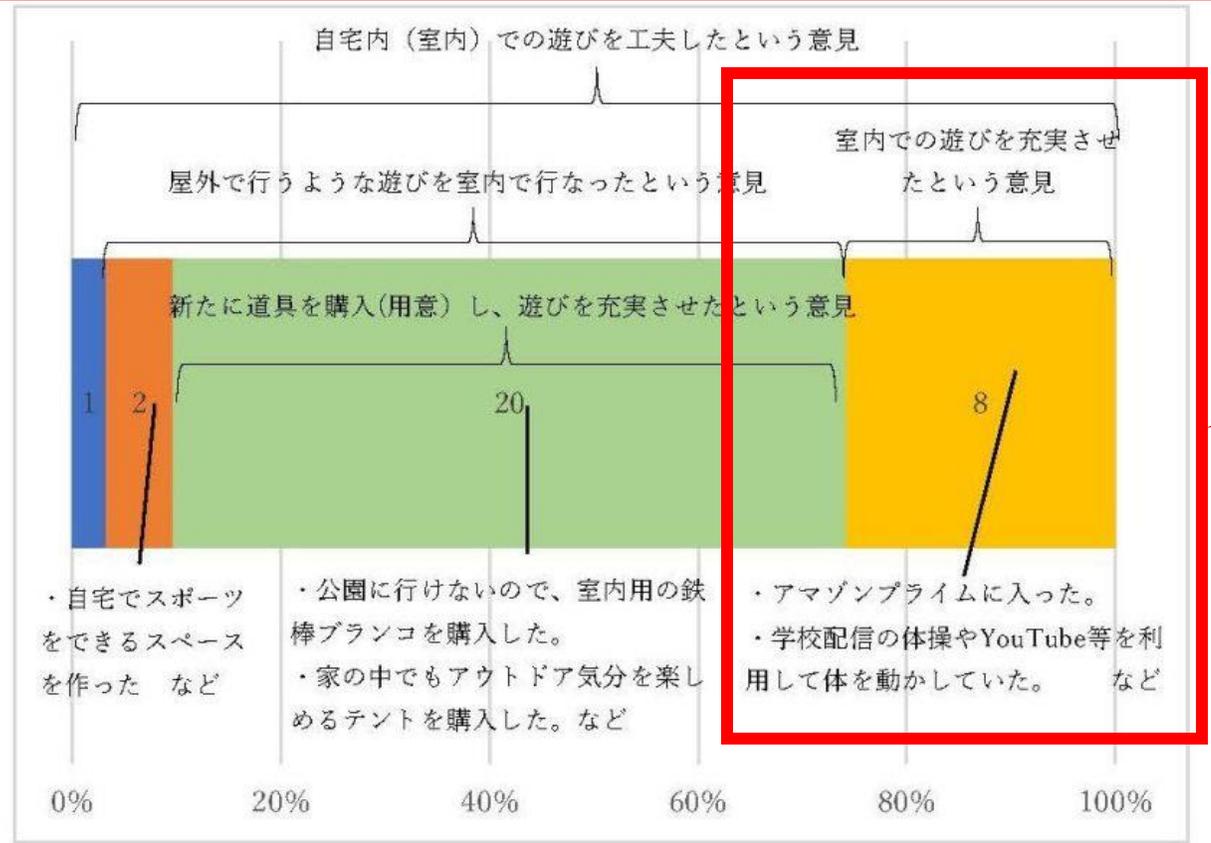
図 19 専有的に使える屋外空間（庭除く）での遊び方



③ 自宅内（室内）での遊び方を工夫したという意見(n=31)

屋外での遊びを補完するために、「自宅内(室内)」を遊び場として利用したという回答も得られた。そのうち、屋外で行うような遊びを室内で行ったという回答が22件あり、うちそのために道具やサービスを用意（購入）したという回答が20件あった（屋内用滑り台やジャングルジムを購入したなど）。一方、室内での遊びを充実させるために工作やお菓子作り、動画サービスへの加入などの対応をとったという回答も8件みられた。

# 実際)の現状



Web.を活用した遊び  
を選択  
  
Youtube・Amazon

図 21 自宅内（室内）での遊び方

# 【質の高いキャンプ】キャンプスタイルの変容

組織体や規模によって模索が必要だが、NOTSでは、、、

レジャー

教育

自然学校主催の  
ファミリーキャンプ

ファミリー  
キャンプ



組織  
キャンプ



NCAJ

公益社団法人日本キャンプ協会  
National Camping Association of Japan

NOTES  
OUTFITTER

# 【質の高いキャンプ】キャンプスタイルの変容

「密」の回避

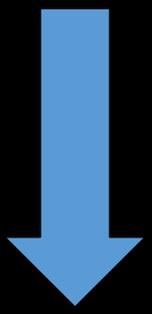
集団から小グループへ／集団からファミリーへ

教育からレジャーへ



# 【質の高いキャンプ】キャンプスタイルの変容

子どもたちの手元に飛び込める



# 【質の高いキャンプ】キャンプスタイルの変容

ITの活用



VR(子どもたちの手元に飛び込める。バーチャルをリアルに)

NOTSでは、YOUTUBEで遊びやトレーニングの動画作成。  
活動の事前事後に動画配信でサービス。

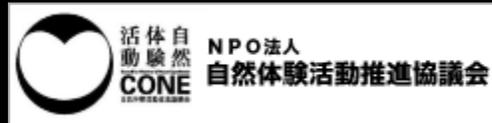
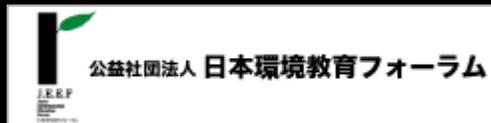
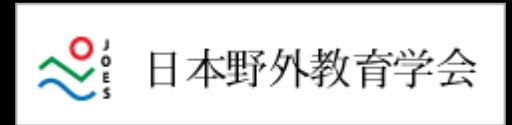
# 本日の目次

- 1、民間事業者のコロナ禍の現状をダイジェスト！
- 2、【対策と成果】キャンプのニューノーマル
- 3、【質の高いキャンプ】キャンプスタイルの変容
- 4、【問題提起】グラウンドデザインを考えよう

# 【問題提起】ランドデザインを考えよう

具体は実践の結果出てきた。

産官学が連携をして、ランドデザインを描きませんか？





NCAJ

National Camping Association of Japan

公益社団法人日本キャンプ協会

National Camping Association of Japan

NOTES  
OUTFITTER

ご清聴ありがとうございました。  
これからも一緒に議論していきましょう。